



練馬中学校だより 第 15 号

平成 27 年 4 月 8 日

若き我ら

校歌より 森田 健 氏 作詞

練馬区立練馬中学校
練馬区高松 1-24-1

tel: 03 (3990) 5451

url: www.nerima-j.nerima-ty.ed.jp



入学式・学校長式辞より（抜粋）

春雨に洗われた木々の緑が美しく輝いています。桜前線は一気に北上し、各地の桜は、「躍動の春」、今まさに全てのものが新しい春のエネルギーに満ちています。

160 人の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。私たち教職員、在校している 2 年生、3 年生一同、皆さんの入学を心から歓迎いたします。

今日は、皆さんの入学をお祝いして、多くのご来賓の方々のご多用の中をおいでくださいました。新入生とともにお礼を申し上げます。ありがとうございます。

今日から始まる新しい生活に、今、皆さんは緊張する気持ちの中で、少しの不安と大きな期待をもっていることでしょう。そんな君たちに、私から特に心がけてほしいことを 3 つお話します。

第一に、自分の目標を持って進んで努力してほしいということです。小学校までで学んだこと、身に付けてきたことを大事にして、自分でしっかりと考え、将来に役立つ確かな学力を身に付けてください。よりよい生活習慣の中で、集中して取り組むことが大切です。

第二に、思いやりの心をもって、活動してほしいということです。人は誰もが、世界でたった一人しかいない、大切な命をもった「かけがえのない存在」です。どうか周りの人に対して優しく温かく、思いやりの心を発揮して接してください。友達のよいところを積極的に見つけてください。

第三は、自分の心と体を鍛えて、心身共に健康な生活をしてほしいということです。中学校の三年間は、心も体も一段と成長するととても大事な時期です。部活動や、委員会活動、学校行事など様々な活動を通じて、一緒に関わらう中で、心と体を大いに鍛えてください。

今日、入学する 160 人に一つの詩を送ります。

前を見よ
豊饒たる海
遙かかなたに地平線が見える
そして、その向こうに 君が目指す何かがある
それが何かはまだわからない

しかし、確実にある
きみは今、豊饒たる海に航海に出たのだ
荒波も押し寄せてくる、
荒れ狂う台風に出会うかもしれない
どんなに苦しくても
操縦かんを離してはならぬ
どんな嵐にも負けない知恵と技と体力を
北極星のごとく航海の指針となる
目標と夢に向かう強靱な精神力を
身に付けねばならぬ
このことを学ぶのが学校なのだ
その心を実践し、頭と心と体を鍛えていくのが
日々の学校生活である
さあ豊饒たる海を力強く航海し続けるために
みんなと一緒に考えていこう
かけがえのない私 どう生きる

保護者の皆様、お子様のご入学、おめでとうございます。これから始まる中学校での一日一日を充実したものとするために、私たち教職員は生徒と力を合わせて全力を尽くします。子ども達の健やかな成長のため、家庭、地域とともに歩む姿勢を大切にしながら、教育活動を行って参ります。

最後になりますが、ご来賓の皆様、保護者の皆様をお願いいたします。ただいま 160 人の新入生を迎え、練馬中学校の平成 27 年度の新たな活動が始まりました。この地域の宝となる大切な生徒たち 479 人一人一人を、地域の大人の多くの目で温かく見守ってくださいますようお願い申し上げます、式辞といたします。

